

職員オススメ本 11月



「空をこえて七星のかなた」 加納 朋子／著 集英社

父親が言い出した急な沖縄旅行に中学生の七星はどうも気が乗らなかった。去年まではママも一緒だったのに・・・。

石垣島のテーマパーク、竹富島の星砂の浜とめぐっていくうちに、告げられたこの旅行の本当の目的とは・・・。一話目の「南の十字に会いに行く」をはじめ宇宙や星をテーマにした短編集です。最終話「リフトオフ」を読むと、もう一度最初から読み返したくなる作品です。



「あきらめません！」 垣谷 美雨／著 講談社

夫婦ともに定年退職を迎え、義母の住む田舎に移住した郁子は、老後はこの土地でゆっくり過ごそうと思っていた。ところが、ある日出会った市議会議員のミサオに正義感が強く何でもはっきり言える人柄を見込まれ、自分の後を継ぎ市議会議員になってほしいと懇願される。初めは断っていたが、町の現状を知るうちに自分がなんとかしなければと立候補を決意するが・・・。都会から来たよそ者と言われ、男尊女卑が根深く残る町で郁子の奮闘が始まる。



「奇跡集」 小野寺 文宜／著 集英社

朝の満員電車。過去最悪の腹痛に襲われる青戸条哉。目の前の女性がしゃがみ込んだため、席を譲ろうと声をかける大野柑奈。容疑者を尾行する警察官、東原達人。痴漢のえん罪を目撃し、証言をする赤沢道香。食品会社に勤め、カップ麺の宣伝広告を考える小見太平。恋人の浮気相手を尾行する公務員、西村琴子。尾行を警戒する黒瀬悦生。

同じ車両、時刻の電車に乗り合わせた7人の日常に小さな奇跡が舞い降りる連作短編小説です。